

## 令和5年度（2023年度）学校版環境ISOへの取組

&lt; 学校名：熊本市立天明中学校 &gt;

## 1 取組の概要報告

## (1) 取組の概要

項目	活動の様子（写真）	取組の実際
宣言	 	<p>生徒</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「消灯し忘れ0」を目指します。</li> <li>・昼休みや清掃の時間は消灯します。</li> <li>・歯磨き中は蛇口の水を止めます。</li> <li>・雑巾はバケツの水で洗います。</li> <li>・教室に紙リサイクル箱を設置し、紙ごみを減らします。</li> </ul> <p>職員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・両面印刷や裏紙の利用で紙の消費量を減らします。</li> <li>・教室の未使用時の消灯を徹底します。</li> <li>・パソコンの電源をこまめにオフにします。</li> <li>・エアコン使用は申し合わせ内容を徹底します。</li> <li>・ごみの分別をさらに徹底していきます。</li> </ul>
行動	  	<p>(1)校舎各場所において、呼びかけ等を掲示</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リユース・分別・節電・節水の呼びかけ</li> </ul> <p>(2)環境に関する取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・清掃活動（環境委員会の花壇整備等）</li> <li>・雨水の利用</li> <li>・学級農園</li> <li>・緑のカーテン（ゴーヤ）</li> <li>・地域の花壇整備（2年生・天明水の会）</li> <li>・天明の森下草刈り（2年生・天明水の会）</li> <li>・「炭焼き体験」（3年生・天明水の会）</li> <li>・アルミ缶回収（生徒会・PTA）</li> <li>・資源物回収（生徒会・PTA）</li> <li>・愛校作業（ボランティア生徒・PTA）</li> </ul>
記録		<p>(1)地域との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長年地域（天明水の会）と連携して取り組んでいる「炭焼き体験」、天明の森の下草刈り」、「地域の花壇整備」に本年度も取り組むことができた。</li> <li>・資源物回収等のリサイクル活動にも協力して取り組むことができた。</li> </ul>

	  	<p>(2)E S D の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員間でもE S D についての研修を行い、総合的な学習の時間と委員会活動とを関連させて、全校でE S D の視点に立った学習活動に取り組むことができた。</li> </ul> <p>(3)環境委員会の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・掃除の時間を中心に、花壇やプランターの整備・充実に向け、草取り等に取り組んでいる。</li> <li>・アルミ缶リサイクルに取り組んでおり、収益金で花の苗を購入する予定である。</li> </ul> <p>(4)その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・紙の使用量削減に向けて、教室や職員室に紙のリサイクルボックスを設置した。</li> <li>・節電に関しては教室や廊下の電気、電子機器等のスイッチをこまめに消すよう心がけた。</li> <li>・節水に関しては、掃除で雑巾を洗う際、バケツの水を使用することが習慣化されている。</li> </ul>
見直し		<p>○節水や節電を目指した取組やペーパーレス化の取組を継続する。</p> <p>○S D G s やE S D の取組を推進し、生徒たちがより積極的に活動できるように、教師側から幅広く支援していく。</p>

## (2) 成果と課題

成 果	課 題
<p>継続的に地域と連携しながら環境保全活動に取り組んでいることで、環境保全に向けた生徒主体の活動に取り組むことへの意識は高い。本年度はESDの視点に立った学習活動にも取り組むことができた。今後も、地域生活や学校生活をより良いものにしようとする生徒の自主的・意欲的な活動を支えていきたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・声かけ、意識づけ、行動を評価・点検する等の工夫を行いたい。</li> <li>・生徒が水や電気の節約を具体的に実感できるような掲示等(数値の変化等を示す等)に取り組みたい。</li> <li>・委員会活動や総合的な学習の時間、学校行事を連携させて、身近なことから環境によりよい行動ができる生徒の育成に力を入れていきたい。</li> </ul>